

令和 5 年度 施策評価表

施策	1602 観光客受入体制の整備	施策担当部	産業振興部	部長	浦山 優
		施策担当課	観光振興課	課長	富永 彰
施策の方針	自然や歴史を活かした観光地の魅力向上や、Wi-Fi環境等の整備に努める。また、情報発信やプロモーション活動の強化を図るとともに、観光推進体制の充実と人材育成に努める。				
関連するSDGsのゴール	  				

【DO（実施）】

後期基本計画（令和3年度～令和7年度）における数値目標

指標名	単位	基準値 (R1)	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値	R4年度	
			R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	達成率	進捗率
① 市内主要観光施設の入場者数	人/年	650,000	660,000 550,224	670,000 612,493	680,000	690,000	700,000	91.4%	87.5%
② 外国人宿泊者数	人/年	7,226	7,484 213	7,613 310	7,742	7,871	8,000	4.1%	3.9%
③ 観光ボランティアガイドの会員数	人	24	26 18	26 18	27	28	30	69.2%	60.0%
④									
⑤									

施策達成状況の説明

- ① ”市内主要観光施設の入場者数”は、前年実績値を上回ったものの、新型コロナウイルス感染拡大前の水準には戻らず、目標値は下回った。
※市内主要観光施設～大村公園、野岳湖公園、琴平スカイパーク、裏見の滝自然花苑
- ② ”外国人宿泊者数”は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、水際対策として行われていた入国制限などが解除され、訪日外国人観光客の受入れが再開されたが、長崎空港の国際便の運休などの影響もあり、目標値を大きく下回った。
- ③ ”観光ボランティアガイドの会員数”は、前年実績値と変わりはないが、会員の高齢化や新規会員の確保などの課題があり、目標値は下回った。

施策経費

(単位:千円)		R4年度 決算	R5年度 予算	R6年度 見込	特記事項
内訳	事業費	82,992	86,515	103,575	
	国庫支出金	0	433	433	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	8,110	3,597	26,918	
	一般財源	74,882	82,485	76,224	
	人件費	13,132	#VALUE!	—	
フルコスト	96,124	#VALUE!	—		

施策の概要（細施策）

160201	観光地の魅力向上	大村公園をはじめとする自然豊かな観光地の魅力向上を図るため、「オオムラザクラ」や「クシマザクラ」、季節の花々などを植栽するなど、四季を通して楽しめる取組を推進します。 また、日本遺産に登録されたシュガーロード（長崎街道）をはじめ、玖島城跡や武家屋敷街、日本初のキリシタン大名「大村純忠」、天正遣欧少年使節など、各種の観光資源の効果的な活用を図るとともに、市民にも親しまれる魅力ある観光地づくりを進めます。
160202	観光基盤の整備	市内を訪れる観光客が安心して快適に観光できるよう、Wi-Fi環境、トイレ、駐車場など計画的な基盤整備に努めます。 また、アウトドアアクティビティを推進するため、関連施設の整備を促進します。
160203	情報発信・プロモーション活動の強化	国内外の観光客の誘客を図るため、ホームページやパンフレット、ガイドブックなど各種広報媒体を整備し、インバウンド対策として、多言語による情報発信やPRを強化します。 また、ターゲットを明確にした、きめ細かで戦略的なプロモーション活動を強化します。
160204	観光推進体制の充実と人材育成	市民や観光関連団体、ホテルや飲食店等の事業者、行政など、官民一体となった観光地域づくりを推進します。 また、観光客の受入環境の強化を図るため、修学旅行の実施に対する助成等を行うとともに、観光ボランティアガイドの養成など観光人材の育成に努めます。

【CHECK（評価）施策担当部長】

施策を達成する上での問題点・課題

【観光地の魅力向上】
 “キリシタン観光”については、世界文化遺産である”長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産”の構成資産が大村市にはないことから、「はじまりは大村から エピソードゼロ」をテーマとし、当該世界遺産と関連づけ、また、”大村公園（玖島城跡）”の“花や”日本遺産の“シュガーロード”についても、観光客を周遊させる取組やさらなる周知を図る必要がある。

【観光基盤の整備】
 野岳湖公園などの観光施設へのW i F i 整備や、コロナ渦で人気が高まったキャンプなどのアウトドアアクティビティの施設整備に取り組む必要がある。

【情報発信・プロモーション活動の強化】
 観光マップの見直しや外国人旅行者向けの多言語の案内表示板の整備に取り組むほか、世の中のトレンドと本市の観光資源にミスマッチが生じないように情報発信などに取り組む必要がある。

【観光推進体制の充実と人材育成】
 新型コロナウイルス5類移行による観光分野を取り巻く環境の変化を受け、観光関連団体との連携を深めビジョンを共有する必要がある。また、人材育成については、今後増加が見込まれる外国人旅行者に対応できる観光ボランティアの新規入会者を確保する必要がある。

【ACTION（改善・改革）】

上記の問題点・課題を踏まえた事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方

【観光地の魅力向上】
 “キリシタン観光”については、ストーリーカルを活用し、世界文化遺産である”長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産”との関連づけを行い、「はじまりは大村から エピソードゼロ」をテーマにプラスワンの訪問地となるように取り組む。

【観光基盤の整備】
 主要観光施設へのW i F i 整備のほか、特に野岳湖公園の整備については、現在策定に向け取り組んでいる”アウトドアグランドデザイン”をベースに取り組む。

【情報発信・プロモーション活動の強化】
 観光マップの見直しに取り組むほか、スマホを活用した外国人旅行者向けの多言語の案内表示板の整備に取り組む。また、拡散力の高いSNSの効果を上げるために、受け手目線に立ち投稿する写真のアングルや投稿文の見直しなどに取り組む。

【観光推進体制の充実と人材育成】
 本市の観光を進める上で重要な役割を果たしている（一社）大村市観光コンベンション協会を、地域おこし協力隊の主な就労場所とし、同協会と観光ビジョンをこれまで以上に共有できるように取り組む。また、人材育成については、観光ボランティア団体と協力し、新規入会者を確保に取り組む。

令和6年度新規事業

事業名	担当課	令和6年度見込	対象・事業概要など
		事業費（千円）	
1 玖島城石垣等保全整備検討事業	河川公園課	6,290	・玖島城石垣等保全整備検討委員会報酬 ・玖島城石垣地盤調査業務委託など
2			
3			
4			
5			
		6,290	